

令和5年度 前期 四国大学開放授業

本学では学生が日常学んでいる授業の一部を、地域一般社会人や高校生の皆様に開放することで、教育活動のPRと地域教育力の向上に資することを目的とし開放しています。前期に開放する授業は次の表のとおりです。

*** 受講希望の方は、「四国大学開放授業(前期)申込書(ハガキ)」の希望する授業の希望欄に「○」を記入し、令和5年3月30日(木)【消印有効】までに郵送(コピーしてFAX可)又は直接窓口までお申し込みください。**

* 希望者が定員より多い場合は、先着順とさせていただきます。

* 受講が決定された方には、ご案内等を4月4日(火)頃に発送する予定です。

* 曜日・時限(時間)は、都合により変更する場合がありますので、予めご了承願います。

《連絡事項》

* 開放授業科目の受講生には、成績評価(単位認定)は行いません。

* 受講が決定した方には「開放授業受講時の諸注意」を送付いたしますので、内容の確認をお願いします。

* **申し込み後キャンセルをする場合は、4月4日(火)正午までに四国大学生涯学習センターへご連絡ください。**

令和5年度 四国大学大学教育開放授業に係る学部等指定授業科目一覧

【前期】 15科目

	学部等	学科・専攻	学年	授業科目	担当教員	受入可能 受講生数
1	文学部	日本文学科	1	古典文学史	田中 智子	5
2	文学部	書道文化学科	3	実用書法	辻 尚子	5
3	文学部	国際文化学科	1	英語基礎	西蔭 俊彦	5
4	文学部	国際文化学科	1	Listening I	西 記代子	5
5	経営情報学部	経営情報学科	2	マクロ経済学	稲倉 典子	5
6	経営情報学部	経営情報学科	3	地方自治論	小笠原 章	5
7	生活科学部	人間生活科学科	4	スペースデザイン	上野 昇 細川 康輝	5
8	生活科学部	健康栄養学科	1	食品学総論	飯島 美夏	2
9	生活科学部	児童学科	1	子どもと言葉	湯地 由美	5
10	看護学部	看護学科	1	生化学	中井 大輔	5
11	看護学部	看護学科	3	災害・救急看護論	松尾 恭子	5
12	短期大学部	食物栄養専攻	1	調理学	三木 章江	3
13	短期大学部	幼児教育保育科	2	保育者論	中村 真理子	5
14	全学共通教育 センター	全学共通教育センター	1	AIで変わる社会	松重学長, 長沼 次郎 他12名	5
15	全学共通教育 センター	全学共通教育センター	1	多文化共生入門	川端 新 他3名	5

1	科目名	古典文学史		
	担当講師	田中 智子 (文学部 日本文学科)		
	開講期間・回数	4/10 ~ 7/24 (全15回)	受講定員	5名
	曜日・時限	月曜日 2時限 (10:40~12:10)	受講教室	P102
	使用テキスト	東京書籍「新総合図説国語」850円(税別)		
	概略	上代から近世までの古典文学史について講義します。個々の作品の概説にとどまらず、作品同士の有機的な関係性について、受講生とともに考えることのできるような授業を目指します。できる限り作品の原文も取り上げる予定です。		
	履修について	マナビコースを利用することがあります。スマートフォンなど、授業中にマナビコースにログインするための機器を持参して下さい。		

2	科目名	実用書法		
	担当講師	辻 尚子 (文学部 書道文化学科)		
	開講期間・回数	4/11 ~ 7/25 (全15回)	受講定員	5名
	曜日・時限	火曜日 3時限 (13:00~14:30)	受講教室	S301
	使用テキスト	適宜プリントを配布します。		
	概略	はがきの宛名、のし書き、写経、賞状、絵手紙・表札の書き方などを学びます。日常生活の中にある様々な種類・書式を理解し、体裁よく書くことを基本に、より魅力的な表現や個性を加えた表現を目指します。また、身近にある広告・印刷物や表示、街中の筆文字などに目を向け、表現の多様性を学びましょう。		
	履修について	マナビコース・ポータルで連絡することがあります。書道用具一式をご持参ください。		

3	科目名	英語基礎		
	担当講師	西 高 俊 彦 （文学部 国際文化学科）		
	開講期間・回数	4 / 13 ~ 7 / 27 （全15回）	受講定員	5名
	曜日・時限	木曜日 1時限 （9:00~10:30）	受講教室	L507
	使用テキスト	佐藤哲三、愛甲ゆかり著『大学生の英語入門（改訂新版）』南雲堂 2,090円（税込）		
	概 略	英文法の基本事項を理解し、テキストの問題を解くことで、自分の身の回りのことや身近な話題についてやり取りができる「英語の基礎力」を身につけるための授業である。毎回の授業範囲の予習と復習を前提とし、授業初めには簡単な復習小テストを行う。中学校、高校で習った内容をもう一度学びなおし、英語を使う力に結びつけたいと考えている方に適した授業である。		
	履修について	特になし。		

4	科目名	Listening I		
	担当講師	西 記 代 子 （文学部 国際文化学科）		
	開講期間・回数	4 / 11 ~ 7 / 25 （全15回）	受講定員	5名
	曜日・時限	火曜日 3時限 （13:00~14:30）	受講教室	L403
	使用テキスト	テリー・オブライエン・三原京ほか（著）『Listening Breakthrough for the TOEIC(R) Test : TOEIC(R)テストのリスニング攻略』（南雲堂、2015年）1,980円（税込）		
	概 略	本科目では、日常生活やビジネスの場面で使われる表現を学習しながら、実践的にリスニング力の向上を図ります。英語の音の特性を知り、ディクテーションやシャドーイングを通して、音の連結やイントネーションなどを聞き取るだけでなく、再生できるようにします。そして、各ジャンルや場面に特有の口語表現を学ぶことで、コミュニケーションにつながる英検2級レベルのリスニング力習得を目指します。		
	履修について	課題提出や習熟度確認のためにPCやスマートフォンを使用する。それぞれの基本操作を理解し、インターネットの活用ができること。		

5	科目名	マクロ経済学		
	担当講師	稲 倉 典 子 （経営情報学部 経営情報学科）		
	開講期間・回数	4 / 13 ~ 7 / 27 （全15回）	受講定員	5名
	曜日・時限	木曜日 2時限 （10:40~12:10）	受講教室	R101
	使用テキスト	毎回、講義資料を配布します。教科書は特に必要ありません。		
	概 略	個人や企業の行動に着目する「ミクロ経済学」と異なり、「マクロ経済学」は一国経済の動きについて考える学問です。「一国経済」というのがかりなものに思えるかもしれませんが、マクロ経済学が分析対象とする諸問題は、私達の日々の生活に非常に密接に関わるものです。本講義では、マクロ経済学の重要な概念・理論を紹介し、それらの枠組みを用いることで、経済的な諸問題を「論理的」に考えられるようになることを目標とします。		
	履修について	講義資料は、講義終了後1週間以内に、マナビコースに掲載します。欠席された場合等は、同サイトから各自、資料をダウンロードしてください。		

6	科目名	地方自治論		
	担当講師	小笠原 章（経営情報学部 経営情報学科）		
	開講期間・回数	4 / 13 ~ 7 / 27（全15回）	受講定員	5名
	曜日・時限	木曜日 1時限（9:00~10:30）	受講教室	R102
	使用テキスト	檜垣 正己著「地方自治の要点 第11次改訂版」学陽書房 2,310円（税込）		
	概略	地方自治制度は、我々の日常生活に直結し、その実施主体である自治体は住民の生命、財産を守り、福祉の増進のため、幅広い事務を処理しています。この講義では、このような地方自治制度の意義、自治体が担うべき役割や処理する事務、地方議会の役割、長と議会との関係さらには自治体の予算制度等、地方自治の全体像を把握します。また、これを基礎として、今、地方自治の現場では何が起っているのかといった点について、ニュース動画や新聞・雑誌記事の紹介などを交え考えていきます。		
	履修について	各回の授業の予定や連絡事項は、manabaの「スレッド」に、参考資料はmanabaの「コンテンツ」にその都度掲載します。なお、テキスト以外の必要な参考資料は授業の際配付します。		

7	科目名	スペースデザイン		
	担当講師	上野 昇（生活科学部 人間生活科学科）、細川 康輝（経営情報学部 メディア情報学科）		
	開講期間・回数	4 / 11 ~ 7 / 25（全15回）	受講定員	5名
	曜日・時限	火曜日 3時限（13:00~14:30）	受講教室	D405
	使用テキスト	印刷物配布または指定サイトの閲覧。		
	概略	スペースデザイン、つまり、空間をデザインする方法として、この講義では初心者を対象に「光」をテーマにした空間の演出、プロジェクションマッピングの基本を実践していきます。Autodesk社のFusion360®（CADソフト）と3Dプリンタを使用して○△□を組み合わせた3Dひな人形の制作に始まり、Adobe社のAfterEffects®（アニメーション映像ソフト）と小型プロジェクタを使用して、そのひな人形等へ光を投影して、プロジェクションマッピングを楽しみながら学修していきます。 最終的に、簡単なプログラムによるLEDライトの演出とプロジェクションマッピングを組み合わせたインタラクティブアートの表現が可能です。		
	履修について	初心者を対象にした実践授業です。		

8	科目名	食品学総論		
	担当講師	飯島 美夏（生活科学部 健康栄養学科）		
	開講期間・回数	4 / 10 ~ 7 / 24（全15回）	受講定員	2名
	曜日・時限	月曜日 2時限（10:40~12:10）	受講教室	A408
	使用テキスト	辻英明、海老原清、渡邊浩幸、竹内弘幸編「食品学総論 第4版」講談社 2,860円（税込）		
	概略	食品学は、食品成分と栄養・健康との関わり、食品成分と色、味、香り、物性、品質等との関わり、調理、加工、保存中に起こる食品成分の化学変化、栄養性変化等、食品の本質を研究し体系づける学問である。食品学総論は、今後、栄養と食品について科学的に学び理解していく上で基礎となる、食品の成分の構造と性質を中心に解説し、食品成分の変化とその利用、食生活との関わり、さらに食物連鎖、食生活と健康、嗜好性、食糧と環境問題についても講義する。		
	履修について	マナビコースを使用することがある。		

9	科目名	子どもと言葉		
	担当講師	湯地 由美 (生活科学部 児童学科)		
	開講期間・回数	6/14 ~ 8/2 (全8回)	受講定員	5名
	曜日・時限	水曜日 2時限 (10:40~12:10)	受講教室	U256
	使用テキスト	『コンパス 保育内容 言葉(第2版)』 建帛社 2018年 内藤知美・新井美保子(編) 2,200円(税込)		
	概略	<p>「保育所保育指針」「幼稚園教育要領」等が示す領域「言葉」について理解し、事例や映像、グループ討議を通して、子どもの言葉の発達の道筋や多様な機能、及び発達を支える援助等、保育者として必要な基礎知識を修得していきます。また、言葉遊びや絵本の読み語りを体験し、子どもの豊かな言葉や表現、想像力を促す保育実践について理解を深めます。</p> <p>本科目は、児童学科のディプロマポリシー「3教育・保育に関する豊かな専門的知識と技術を身に付け、子どもを理解し実践的に指導する力」の修得を目指すものです。</p>		
	履修について	課題の提出や連絡には、マナビコースやポータルを使用するため、スマートフォンやパソコンを必要とします。		

10	科目名	生化学		
	担当講師	中井 大輔 (看護学部 看護学科)		
	開講期間・回数	4/13 ~ 7/27 (全15回)	受講定員	5名
	曜日・時限	木曜日 3時限 (13:00~14:30)	受講教室	R101
	使用テキスト	「コンパクト生化学 改訂第4版」(大久保岩男、賀左伸省 編集:南江堂、2017年) 2,420円(税込)		
	概略	<p>生化学は生体の生命現象を分子レベルから理解するための学問分野です。生体内では、その構成成分の代謝(合成や分解、エネルギー産生など)が常に行われており、これらの化学反応によって生命活動が維持されています。そこで、生体を構成する物質の化学的変化とその調節を理解することにより、生体の異常や疾病との関わりが分かってきます。疾病の原因などに対する生化学的検査は診断と治療にとって不可欠であることから、個々の検査を理解すると共に、病因などについても学びます。生体の素晴らしい仕組みと働きが理解できます。</p>		
	履修について	配布プリントは空欄に書き込みをしてもらうことで、ポイントの理解を促しまとめることができます。マナビコースで小テスト、アンケートの連絡や実施をします。PCかスマートフォンが使いこなせるとなお良いです。		

11

科 目 名	災害・救急看護論		
担 当 講 師	松尾 恭子（看護学部 看護学科）		
開講期間・回数	4 / 10 ~ 5 / 29（全8回）	受講定員	5名
曜 日 ・ 時 限	月曜日 1時限（9:00~10:30）	受講教室	R201
使用テキスト	災害看護－看護の専門知識を統合して実践につなげる－看護学テキストN i C E（改訂第4版）南江堂 2,750円（税込）		
概 略	災害が個人および家族、地域社会に与える健康面の影響を学ぶとともに、防災体制と災害サイクルに沿った看護活動について講義・グループ演習・実践演習をとおして学びます。		
履修について	特になし。		

12

科 目 名	調理学		
担 当 講 師	三木 章江（短期大学部 人間健康科食物栄養専攻）		
開講期間・回数	4 / 11 ~ 7 / 25（全15回）	受講定員	3名
曜 日 ・ 時 限	火曜日 2時限（10:40~12:10）	受講教室	A404
使用テキスト	健康・調理の科学－おいしさから健康へ－（四訂版）建帛社 3,300円（税込）		
概 略	調理は「食品」を「食べ物」に変える手段であり、調理の目的は、食品を衛生上安全にして、より栄養的、嗜好的な食べ物にすることにある。献立作成から食材の選択を経て、食卓の上に並べられるまでの一連の調理操作によって起こる現象を科学的に説明する。食品の特徴を理解し、食品と調理性に重点をおき、食べ物のおいしさが心と体の健康にとって大切であることを解説する。		
履修について	課題の提出や連絡に、マナバコースやポータルを使用することがある。		

13

科目名	保育者論		
担当講師	中村 真理子 (短期大学部 幼児教育保育科)		
開講期間・回数	4 / 13 ~ 7 / 27 (全15回)	受講定員	5名
曜日・時限	木曜日 3時限 (13:00~14:30)	受講教室	U154
使用テキスト	全国保育士会倫理綱領ガイドブック(改訂2版) 全国社会福祉協議会 770円(税込)		
概略	<p>教育と養護を充実するために必要な知識や技術は保育者が共通してもってなければなりません。さらに、倫理観や判断力も重要です。子どもの最善の利益を尊重した援助や支援方法を学びます。</p> <p>内容としては、子どもの発達保障、保護者との協力連携、プライバシーの保護、保育者同士のチームワーク、保護者と保育者の連携、自己評価、地域の子育て支援、専門職としての役割などを理解します。また、子育て支援、保護者対応、保育現場でのウェルビーイングについてしっかり学びます。</p>		
履修について	連絡することがありましたら、マナビコースやポータル等を使用します。PCまたは、スマートフォンが必要です。		

14

科目名	AIで変わる社会		
担当講師	松重学長、長沼次郎 他12名		
開講期間・回数	4 / 13 ~ 7 / 27 (全15回)	受講定員	5名
曜日・時限	木曜日 1時限 (9:00~10:30)	受講教室	R201
使用テキスト	なし		
概略	<p>人工知能(AI)の歴史や原理などの基礎を学ぶとともに、四国大学の4つの学部、それぞれの専門分野がAIでどう変わるかを学びます。専門分野として、児童教育、心理・養護、管理栄養、経営、メディア、看護・医療、スポーツ、幼児教育、音楽、文学などを幅広い分野をオムニバス形式で学び、またディスカッションの場を設けて自ら考え適用していく力も養い、将来の社会に及ぼすインパクト・影響を考えてもらいます。</p>		
履修について	毎回、課題をマナビに提出してもらい出席確認をさせていただきます。毎回マナビコース・ポータル等を使用しますので、PCまたはスマートフォンが必要です。		

15

科目名	多文化共生入門		
担当講師	川端 新(文学部国際文化学科)、フェネリー マーク(文学部国際文化学科)、有内則子(生活科学部人間生活科学科)、森下よう子(非常勤講師)		
開講期間・回数	4 / 7 ~ 7 / 21 (全15回)	受講定員	5名
曜日・時限	金曜日 3時限 (13:00~14:30)	受講教室	A305
使用テキスト	テキストは使用しません。適宜、資料を配布します。		
概略	<p>この講義では、世界の様々な社会や文化、民族をトピックとして、多文化と共生することについて考えます。前半ではイギリスとオーストラリア、カナダの基礎情報や社会文化を学びます。後半では視点を日本に戻し、日本文化と世界、日本の多文化共生や国際協力について学習します。世界や日本の実情に目を向け、「文化」とは何かを考え、様々な社会文化的背景から異文化を理解しようとする姿勢や、多文化共生社会における課題について考え、行動することができるグローバルな視野を獲得することを目指すことを目的とします。</p>		
履修について	講義は原則日本語で行いますが、英語を母語とする外部講師をお迎えする場合、講義1~2回分を英語で行うことがあります。外国語や海外事情に興味のある学生、海外留学を考えている学生はぜひ履修してください。		

新型コロナウイルス感染防止対策における マスクの着用について

四国大学では、新型コロナウイルス感染防止対策の基本的な感染症対策は継続しながら、一律にマスクの着用を求めず、個人の判断を基本とします。ただし、実習・実験などを含む授業の中で、授業担当者からマスク着用を要請することがありますので、その場合はご協力をお願いいたします。

なお、混雑したスクールバスに乗車する際は、マスク着用が効率的とされています。また、手指消毒用のアルコール消毒液は、校舎入口及び廊下等に設置しておりますのでご利用ください。

講座内容についての問合せ先

四国大学 教育・学生支援部 教育支援課
〒771-1192 徳島市応神町古川
TEL 088-665-9922

受講申込みについての問合せ先

四国大学 生涯学習センター 事務室
〒770-0831 徳島市寺島本町西二丁目35-8
四国大学交流プラザ内
TEL 088-602-4858 (直通)
FAX 088-602-4861

お問い合わせ

四国大学 交流プラザ
生涯学習センター 事務室

〒770-0831 徳島市寺島本町西二丁目35-8

TEL 088-602-4858(直通)

FAX 088-602-4861

〔電話による問い合わせ時間〕

午前9時～午後6時(月曜午後・特別休館日を除く)

切り取ってご利用ください。

キリトリ線

郵便はがき

770-0831

63円切手を
お貼りくだ
さい

徳島市寺島本町西二丁目三五―八

四国大学交流プラザ

生涯学習センター事務室行

(四国大学開放授業申込)

キリトリ線

開放授業をお申し込みの際は下の
ハガキをご利用ください。
(コピーしてFAXでも可)

古川キャンパスで開設する授業科目の内、開放する授業の受講を
希望される方は希望欄に○を記してください。

電話番号及びメールアドレスは、休講等の緊急の場合にのみ使用します。

切り取ってご利用ください。

✂ キリトリ線

四国大学開放授業(前期)申込書

希望する授業の名称	希望欄	希望する授業の名称	希望欄
古典文学史		子どもと言葉	
実用書法		生化学	
英語基礎		災害・救急看護論	
Listening I		調理学	
マクロ経済学		保育者論	
地方自治論		AIで変わる社会	
スペースデザイン		多文化共生入門	
食品学総論			

次の項目についていずれかに○印を付けてください。

●古川キャンパスに自家用車を利用 する しない

住 所

〒

フリガナ

氏 名

生年月日 大. 昭. 平. 年 月 日 男・女

電話番号

メールアドレス

✂ キリトリ線